

21.3 型モノクローム液晶モニター MS-S200 設置マニュアル (システムベンダー用)

Model: MS-S200BN0JA



この「設置マニュアル」をよくお読みいただき、正しくお使いください。 また、ご使用前に必ず「取扱説明書」の「安全上の注意」を読んで正しくお使いください。 「設置マニュアル」はできる限り身近な所に大切に保管してください。

B5E-0267-10

もくじ

| 製品セキュリティに関して3 |
|----------------------|
| 付属品を確認してください4 |
| 接続のしかた5 |
| 画面の回転方法7 |
| 画面の角度調整8 |
| モニター情報の表示と調整9 |
| 1. 操作ボタンガイド9 |
| 2. インフォメーション表示10 |
| 3.現在の状態表示11 |
| 4. DICOM 適合性試験表示11 |
| 5. OSD 機能一覧12 |
| DICOM 適合性試験の実施方法14 |
| コンフィグレーションデータの切替方法16 |
| ディスプレイモードを切り替える18 |
| 入力信号を切り替える19 |
| オートテキストモード機能20 |
| 人感センサー機能 |
| 画像の表示方向を固定する23 |
| テストパターンの表示方法24 |
| DisplayPort 設定 |
| USB ハブ機能27 |
| 工場出荷設定に戻す29 |
| スタンバイ電源ボタンのロック機能 |
| 操作ボタンのロック機能 |
| 市販のアームを取り付けるときは |
| 盗難防止セキュリティロックスロット |
| ヒューズの交換 |
| 故障かな?と思ったら |
| |

* 記載されている会社名および商品名は各社の登録商標または商標です。

製品セキュリティに関して

| 注意 | 本製品は専用のマイコンシステムにより動作しています。 そのプログラムが消去・変更されると正常な表示ができなくなる恐れがありま す。 |
|----|---|
| | 本製品をワークステーションと接続して設定変更や精度管理等の制御を行う際、通信中は USB ケーブルを抜かないでください。 |
| | IT ネットワークへの接続に関して |
| | ・IT ネットワークへの接続には想定しないリスクが生じる可能性があります。 |
| | ・IT ネットワーク接続の変更には新たなリスクが生じる可能性があります。 |
| 注意 | ・変更には、構成の変更、機器の追加、機器の取り外し、機器の更新を含め ます。 |
| | ・これらのリスクを特定し、リスクマネジメントをしてください。 |
| | 本製品をセキュアな状態でご使用いただくために、本製品と接続して使用する |
| | │ ワークステーションにおいて、下記のセキュリティ対策を適用して使用してくだ │ → 、、 |
| | |
| 厳守 | |
| | ・ファイアーワォールの有効化とホート制御 |

付属品を確認してください

梱包箱から製品を取り出し、以下のものがすべて入っていることを確認してください。 万一足りないものや破損しているものがあった場合は、恐れ入りますが、販売店にご連絡ください。 注意 本製品以外に付属の電源コードを使用しないでください。

□ モニター本体

□ 電源コード (2.0 m)





□ DisplayPort ケーブル (DP–DP) □ DVI ケーブル (DVI–DVI) □ USB ケーブル (3.0 m) (1.8 m) (2.2 m)







□ ユーティリティディスク *

□ 3P-2P変換アダプタ



□ 取扱説明書 × 1
 設置マニュアル × 1





* ユーティリティディスクについて

本製品には「ユーティリティディスク」(CD)が付属しています。このディスクには「QA Medivisor Agent LE」が収録されており、ワークステーションにインストールするこ とで、キャリブレーションや各種テストパターン表示等の機能拡張が行えます。 インストール方法、使用方法については、ディスク内の取扱説明書を参照してください。

- 梱包箱や緩衝材は、輸送などのために保管しておいてください。

接続のしかた

1 接続するワークステーションの電源をオフにします。

2 DisplayPortコネクタで接続する場合:

付属のDisplayPortケーブルで、本製品の「DisplayPort IN」ポートとワークステーションの DisplayPort出力に接続します。

DVI-Dコネクタで接続する場合:

付属の Single Link DVI ケーブルを、本製品の 「DVI-D」 ポートとワークステーションの DVI 出力ポートに接続します。



注意 ケーブルは添付品の使用を推奨します。添付品以外のケーブルを使用した場合、 画面がちらつくなど表示が不安定になることがあります。

3 ワークステーションから本製品に対して操作(設定変更、精度管理)を行う場合には、付 属のUSBケーブルを、本製品の「UP」ストリームポートとワークステーション(または他 のUSBハブ)の「DOWN」ストリームポートに接続します。

4 付属の電源コードを本製品のACインレットとコンセントに接続します。 電源コンセントが 2P の場合は、「3P-2P 変換アダプタ」を使って接続してください。

■注意 3P-2P 変換アダプタのアース線はコンセントのアース端子に確実に接続してくだ さい。

5 本製品のメイン電源をオンにして、ワークステーションの電源をオンにします。



モニター背面



_ 注意 .

- ・医療用途でお使いの場合、本製品は、IEC 60601-1 認定機器および医用システムに接続 されることを意図しています。本製品が IEC 60601-1 認定機器へ接続されていない場合 は、IEC 60601-1 によるシステム評価が必要となります。
- ・付属の電源コード以外は使用しないでください。

複数のモニターをデイジーチェーン接続するときは

DisplayPort コネクタを下図のようにデイジーチェーン接続します。 デイジーチェーン接続が可能なモニターおよび推奨グラフィックスカードについては、弊社の Web サイトをご確認ください。



画面の回転方法

本製品は横型(ランドスケープ)および縦型(ポートレート)に 90 度回転させて切り替えるこ とができます。ご使用に応じて下記の手順で切り替えを行ってください。

1 画面を手前にチルトさせます。



2 画面を一番上まで引き上げます。



4 画面を任意の高さまで下げます。

3 そのままの状態で画面を 90 度回転させます。









画面の角度調整

本製品の画面は下図の範囲で任意の角度に調整することができます。調整するときは図のよう に画面を両手で持ち、ゆっくり動かしてください。



▲ 注意 画面の角度調整をするときはご注意ください。指をはさむ恐れがあります。



モニター情報の表示と調整

モニターの各種情報を画面上に表示 (On Screen Display = OSD) させて調整することができます。

1. 操作ボタンガイド

デフォルト状態では「操作ボタンガイド」が表示されていませんが、操作ボタンA ~D のいず れかを押すと「操作ボタンガイド①」が表示されます。このまま無操作の場合、1 0 秒後に操 作ボタンガイドの表示は消えます。「MENU」ボタンを押すとOSDメニューが表示され、「操作 ボタンガイド②」が表示されます。OSDメニュー表示が終了すると「操作ボタンガイド②」の 表示も消えます。



メニューを表示して ▼ または ▲ ボタンでカーソルを移動させていくと、メニューのページが切り 替わります。

メニュー1/2ページ表示 → メニュー2/2ページ表示 メニュー 1/2 ページ

| | 2 M P |
|------------------------|-------|
| MENU | 1/2 |
| > INFORMATION | |
| CURRENT STATE | |
| DICOM CONFORMANCE TEST | |
| CONFIGURATION | |
| INPUT SOURCE | |
| DISPLAY MODE | |
| AUTO TEXT MODE | |
| HUMAN SENSOR | |
| FUNCTION | |
| EDID | |
| TEST PATTERN | |
| | |

メニュー 2/2 ページ

| | 2 M P |
|-------------------------|-------|
| MENU | 2/2 |
| > D I S P L A Y P O R T | |
| USB POWER | |
| FACTORY PRESET | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |

各項目の機能については ■● P12「OSD機能一覧」をご確認ください。

2. インフォメーション表示について

- 1)操作ボタンA~Dのいずれかを押して「操作ボタンガイド①」を表示させます。
- 2)「**MENU**」ボタンを押します。
- 3) ▼ または ▲ ボタンを押してメニュー 1/2 ページから「INFORMATION」を選択し、「OK」 ボタンを押します。すると下図のような「インフォメーション 1/2 ページ」の OSD が表示 されます。

▼ または ▲ ボタンを押すと OSD の「インフォメーション 1/2 ページ」と「インフォメーショ ン 2/2 ページ」が切り替わります。



上図の場合、

ファンクション1(F1) ボタンは「テストパターン」表示のオン/オフ、

ファンクション2(F2)ボタンは「オートテキストモード」の切り替えが割り当てられています。 ファンクション3(F3)ボタンは「無効」となっています。



3. 現在の状態表示

- 1)操作ボタンA~Dのいずれかを押して「操作ボタンガイド①」を表示させます。
- 2)「**MENU**」ボタンを押します。
- 3) ▼ または ▲ ボタンを押してメニュー 1/2 ページから「CURRENT STATE」を選択し、「OK」 ボタンを押します。すると下図のような「現在の状態表示」の OSD が表示されます。



4. DICOM 適合性試験表示

- 1)操作ボタンA~Dのいずれかを押して「操作ボタンガイド①」を表示させます。
- 2)「MENU」ボタンを押します。
- 3) ▼ または ▲ ボタンを押してメニュー 1/2 ページから「DICOM CONFORMANCE TEST」 を選択し、「OK」ボタンを押します。すると下図のような「DICOM 適合性試験」の OSD が 表示されます。



5. OSD 機能一覧

OSD の階層と機能概要を示します。

MENU

| | モニター情報表示(モデル名、S/N 等) |
|------------------------------|-------------------------|
| - CURRENT STATE | 現在の状態表示 |
| - DICOM CONFORMANCE TEST | DICOM 適合試験 |
| L START TESTING | |
| – Yes | DICOM 適合性試験を実施する |
| L CANCEL TESTING | DICOM 適合性試験の中止操作 |
| – Yes | 試験を中止する |
| L No | 試験を続行する |
| L No | DICOM 試験を行わない |
| | |
| - CONFIGURATION ※コンフィグレーションの | 出荷設定に関してはコンフィグレーションデータの |
| 切替方法に記載の表を参 | ∮照してください。 ∃ |
| – Config 1 | Configuration 1 |
| – Config 2 | Configuration 2 |
| L Config 3 | Configuration 3 |
| - INPUT SOURCE | |
| – DisplayPort | DisplayPort 入力 |
| L DVI * | DVI 入力 |
| – DISPLAY MODE | |
| – ISD * | ISD |
| Normal | ノーマル |
| – AUTO TEXT MODE | |
| – Disable * | |
| Enable | 有効 |
| – HUMAN SENSOR | |
| – Disable * | 無効 |
| L Enable | 有効 |
| | |
| | F1 ボタンに割り振る機能設定 |
| - FUNCTION2 | F2 ボタンに割り振る機能設定 |
| | F3 ボタンに割り振る機能設定 |
| – EDID | |
| - Auto Selection * | 縱橫自動検出 |
| – Portrait | 縦表示用 EDID |
| Landscape | 横表示用 EDID |
| – TEST PATTERN | |
| SMPTE pattern | SMPTE パターン |
| AAPM TG18-OIQ pattern | AAPM TG18-OIQ パターン |
| – DISPLAYPORT | |
| Disable | 無効 (DisplayPort 電源オフ) |
| Enable * | 有効 (DisplayPort 電源オン) |
| | |

| 1 | | |
|---------|---------------------------|-----------------------------|
| - USB | POWER ^{**2} | |
| | – Auto * | USB upstream 接続時のみ USB 電源オン |
| | L Off | USB 電源オフ |
| | | |
| - FAC | TORY PRESET | |
| | – Yes | FACTORY PRESET を実行する |
| | L No | FACTORY PRESET を実行しない |
| | | |
| • KEY L | _OCK_1 (スタンバイ電源ボタンの長押し | でスタンバイ電源ボタンがロックされる) |
| • KEY L | _OCK_2 (▼ および ▲ ボタンの長押しで | スタンバイ電源ボタン以外のボタンがロック |

される)

*印の付いた項目が工場出荷設定されています。

- *1: FUNCTON ボタンに割り当てられる機能
 - CONFIGURATION
 - INPUT SOURCE
 - AUTO TEXT MODE
 - TEST PATTERN

**2: USB POWER 設定とUSB 電源動作

| LICR | ι | JSB UP 接続 | あり | USB UP 接続なし | | |
|-------|--------------|--------------|-------------------------|--------------|--------------|-------------------------|
| POWER | モニター 電源オン | モニター 電源オフ | モニター パワーセ <i>ー</i> ブ | モニター 電源オン | モニター 電源オフ | モニター パワーセ <i>ー</i> ブ |
| AUTO | 0 | 0 | 0 | × | × | × |
| OFF | 0 | × | × | х | × | × |

DICOM 適合性試験の実施方法

注意

この機能は、本製品のガンマ特性が DICOM GSDF でキャリブレーションされているときのみ有効となります。DICOM 適合性試験を行うことにより、本製品が DICOM に適合しているかどうか表示特性を測定し、確認することができます。

DICOM 適合性試験は、モニターの電源を入れて液晶パネルのバックライトが点灯してから 60 分以上経過した輝度が安定した状態で行うことをお薦めします。60 分未満の場合は、モニター の輝度が安定した状態にならないため、測定誤差が大きくなる恐れがあります。

DICOM 適合性試験の実施手順

- 1)操作ボタンA~Dのいずれかを押して「操作ボタンガイド①」を表示させます。
- 2)「MENU」ボタンを押します。
- 3) ▼ または ▲ ボタンを押してメニュー 1/2 ページから「CURRENT STATE」を選択し、「OK」 ボタンを押します。
- 4) ガンマ設定が「DICOM GSDF」になっていることを確認します。

現在の状態表示



- 5)「**BACK**」ボタンを押します。
- 6) ▼ または ▲ ボタンを押してメニュー 1/2 ページから「DICOM CONFORMANCE TEST」 を選択し、「OK」ボタンを押します。次に「DICOM CONFORMANCE TEST」の OSD 表示 から「START TESTING」の「Yes」を選択し、「OK」ボタンを押します。

(注意)ガンマ設定が「DICOM GSDF」になっていない場合、試験開始は表示されません。



DICOM 適合性試験



測定が完了するまで1分から2分程度かかります。

7) 試験結果の表示

測定が完了すると試験結果が表示されます。

| 試験結果 DICOM CONFORMANCE TEST 2MP RESULT : Passed MAX DEVIATION : 4.5% LUMINANCE : Stable ELAPSED TIME : 123min START TESTING Yes >No | 試験結果 Passed: 最大偏差≤ 10 % Failed: 最大偏差≥ 10 % Canceled: キャンセルされた Passed(!)、Failed(!) 推奨条件 (バックライト点灯時間 60 分以上で輝度が安定)を満たしてい なかった場合に(!)を表示します。 連続して 30 秒以内に試験を行う場 合は、LUMINANCE が Unstable に なり、RESULT は(!) 表示になります。 |
|---|---|
| | |

この結果は次回の試験またはキャリブレーションが行われるまで保持されます。

推奨条件での最大偏差が規格に適合しない場合は、外部輝度センサーを用いたキャリブレーションを行ってください。

OSD の未操作状態が約 15 秒続くと OSD 表示は自動的に消えます。

コンフィグレーションデータの切替方法

本製品は、キャリブレーション設定された画面状態(輝度・ガンマ)をコンフィグレーションデー タとして最大3つまでモニターに保存することができます。コンフィグレーションデータの切 り替えを行うには、OSDで CONFIGURATIONを表示して切り替える必要があります。工場出 荷状態ではあらかじめ下記3つが設定されており、デフォルトは出荷設定により異なります。 コンフィグレーションデータの切り替えは、下記手順で行ってください。

| コンフィグレーション | 輝度 (cd/m²) | | 国田平分 | ガンフ | 山芬設定 |
|------------|------------|-----|------|------------|-------|
| 設定番号 | 最大 | 最小 | 间回几刀 | 777 | 山何設た |
| 1 | 500 | 0.6 | 0.0 | DICOM GSDF | 日本、欧州 |
| 2 | 500 | 1.0 | 0.0 | DICOM GSDF | 北米 |
| 3 | 410 | 0.8 | 0.0 | DICOM GSDF | |

注意 工場出荷状態以外の任意の画面状態を設定したり、保存する場合は、オプションの 「キャリブレーションキット」を必要とします。

設定方法 1

OSD でコンフィグレーションデータの切り替えることができます。

- 1)操作ボタンA~Dのいずれかを押して「操作ボタンガイド①」を表示させます。
- 2)「**MENU**」ボタンを押します。
- 3) ▼ または ▲ ボタンを押してメニュー 1/2 ページから「CONFIGURATION」を選択し、「OK」 ボタンを押します。次に「CONFIGURATION」の OSD 表示から「Config1」、「Config2」 または「Config3」を選択し、「OK」ボタンを押します。

設定方法 2

コンフィグレーションデータの切り替えを操作ボタンのファンクション(F1~F3)に割り当て、 ボタン操作で簡単に切り替えることができます。ここでは、「F2」ボタンに割り当てる方法を紹 介します。

- 1)操作ボタンA~Dのいずれかを押して「操作ボタンガイド①」を表示させます。
- 2)「**MENU**」ボタンを押します。
- 3) ▼ または ▲ ボタンを押してメニュー 1/2 ページから「FUNCTION」を選択し、「OK」ボ タンを押します。次に「FUNCTION」の OSD 表示から「FUNCTION2」を選択し、「OK」 ボタンを押します。
- 4)「FUNCTION2」のOSD 表示から「CONFIGURATION」を選択し、「OK」ボタンを押します。
- 5)操作ボタンA~Dのいずれかを押して「操作ボタンガイド①」を表示させます。
- 6)「F2」ボタンを押して「CONFIGURATION」のOSD表示から「Config1」、「Config2」または「Config3」を選択します。 コンフィグレーションの設定状態は「CURRENT STATE」の「CALIBRATION SETTING」 ステータスで確認することができます。

日本語

現在の状態表示



ディスプレイモードを切り替える

本製品は、200 万画素液晶モニターの画素ピッチ(270 µ m)の Normal モードと Independent Sub-pixel Drive (ISD) テクノロジーによる画素ピッチ 90 µ m(サブピクセル方向)の ISD モー ドを切り替えて表示できます。

設定方法

- 1)操作ボタンA~Dのいずれかを押して「操作ボタンガイド①」を表示させます。
- 2)「MENU」ボタンを押します。
- 3) ▼ または ▲ ボタンを押してメニュー 1/2 ページから「DISPLAY MODE」を選択し、「OK」 ボタンを押します。次に「DISPLAY MODE」の OSD 表示から「ISD」または「Normal」 を選択し、「OK」ボタンを押します。
 - · ISD

Normal



入力信号を切り替える

本製品の入力信号切替は、下記の手順で行ってください。

設定方法 1

OSD で入力信号を切り替えることができます。

- 1)操作ボタンA~Dのいずれかを押して「操作ボタンガイド①」を表示させます。
- 2)「**MENU**」ボタンを押します。
- 3) ▼ または ▲ ボタンを押してメニュー 1/2 ページから「INPUT SOURCE」を選択し、「OK」 ボタンを押します。次に「INPUT SOURCE」の OSD 表示から「DisplayPort」または「DVI」 を選択し、「OK」ボタンを押します。
 - 注意 入力信号がワークステーションから2系統入力されていない場合は「INPUT SOURCE」を切り替えても表示は切り替わりません。

設定方法2

入力信号の切り替えを操作ボタンのファンクション (F1 ~ F3) に割り当て、ボタン操作で簡単に 切り替えることができます。ここでは、「**F1**」ボタンに割り当てる方法を紹介します。

- 1)操作ボタンA~Dのいずれかを押して「操作ボタンガイド①」を表示させます。
- 2)「MENU」ボタンを押します。
- 3) ▼ または ▲ ボタンを押してメニュー 1/2 ページから「FUNCTION」を選択し、「OK」ボ タンを押します。次に「FUNCTION」の OSD 表示から「FUNCTION1」を選択し、「OK」 ボタンを押します。
- 4)「FUNCTION1」の OSD 表示から「INPUT SOURCE」を選択し、「OK」ボタンを押します。
- 5)操作ボタンA~Dのいずれかを押して「操作ボタンガイド①」を表示させます。
- 「F1」ボタンを押して「INPUT SOURCE」のOSD 表示から「DisplayPort」または「DVI」 を選択し、入力信号を切り替えます。

「INPUT」の状態は「CURRENT STATE」のステータスで確認することができます。



現在の状態表示



オートテキストモード機能

本製品には、レポートや患者リストなどのテキスト(白)表示を自動的に検知し、その表示面 積に応じて画面の輝度を抑えるオートテキストモード機能を搭載しています。これまで、高輝 度に設定されている医用画像表示用モニターでのテキスト(白)表示は明るすぎて見づらくなっ ていましたが、本機能により画面の輝度を抑え、目のストレス(疲労)を軽減します。 本機能は予め「Disable(無効)」に設定されていますが、OSD 操作で「Enable(有効)」に設 定変更することもできます。



オートテキストモード機能イメージ

オートテキストモード機能が「Enable (有効)」の場合、効果の度合いを示す
 インジケータが画面上部に点滅表示されます。
 画面上のテキスト(白)表示面積に応じて画面の輝度が抑えられます。

設定方法1

OSD でオートテキストモード機能をオン / オフ (有効 / 無効) することができます。

- 1)操作ボタンA~Dのいずれかを押して「操作ボタンガイド①」を表示させます。
- 2)「MENU」ボタンを押します。
- 3) ▼ または ▲ ボタンを押してメニュー 1/2 ページから「AUTO TEXT MODE」を選択し、「OK」 ボタンを押します。次に「AUTO TEXT MODE」の OSD 表示から「Disable (無効)」また は「Enable (有効)」を選択し、「OK」ボタンを押します。

設定方法 2

オートテキストモード機能を操作ボタンのファンクション (F1 ~ F3) に割り当て、ボタン操作で 簡単にオン / オフ (有効 / 無効) することができます。ここでは、「F2」ボタンに割り当てる方法 を紹介します。

- 1)操作ボタンA~Dのいずれかを押して「操作ボタンガイド①」を表示させます。
- 2)「MENU」ボタンを押します。
- 3) ▼ または ▲ ボタンを押してメニュー 1/2 ページから「FUNCTION」を選択し、「OK」ボ タンを押します。次に「FUNCTION」の OSD 表示から「FUNCTION2」を選択し、「OK」 ボタンを押します。
- 4)「FUNCTION2」の OSD 表示から「AUTO TEXT MODE」を選択し、「OK」ボタンを押しま す。
- 5)操作ボタンA~Dのいずれかを押して「操作ボタンガイド①」を表示させます。
- 6)「F2」ボタンを押してオートテキストモード機能を切り替えます。オートテキストモード機能は「F2」ボタンを押すことでオン / オフ(有効 / 無効)にすることができます。 オートテキストモード機能のオン / オフ(有効 / 無効)状態は「インフォメーション 1/2ページ」の「AUTO-TEXT」ステータスで確認することができます。

·Enable(有効)

·Disable (無効)





本製品には人感センサー機能が搭載されています。人の動きを検知し、離席時は自動でモニター をスタンバイ状態にします。これにより、消費電力カットを実現します。 本機能は予め「Disable (無効)」に設定されていますが、OSD 操作で「Enable (有効)」に設定 変更することもできます。

設定方法

OSD で人感センサー機能をオン / オフ (有効 / 無効) することができます。

- 1) 操作ボタンA~Dのいずれかを押して「操作ボタンガイド①」を表示させます。
- 2)「**MENU**」ボタンを押します。

3) ▼ または ▲ ボタンを押してメニュー 1/2 ページから「HUMAN SENSOR」を選択し、「OK」 ボタンを押します。次に「HUMAN SENSOR」の OSD 表示から「Disable (無効)」または 「Enable (有効)」を選択し、「OK」ボタンを押します。

人感センサー機能のオン / オフ(有効 / 無効)状態は「インフォメーション 1/2 ページ」の 「**H-SENSOR**」ステータスで確認することができます。

・Enable (有効)

・Disable (無効)

| 2MP INFORMATION 1/2 MODEL : MS-S200 SERIAL : ********** VSPU : Rev.A MPU : Rev.A ACT TIME : 99999 H LAST CAL : 99999 H EDID : Landscape DSP MODE : Normal(*) | | | | |
|---|----------|-------------|-------------------------|-------|
| INFORMATION 1/2 MODEL : MS-S200 SERIAL : *********************************** | | | | 2 M P |
| MODEL : MS-S200 SERIAL : ************************************ | | INFORMATION | | 1/2 |
| SERIAL : ********** VSPU : Rev.A MPU : Rev.A ACT TIME : 99999 H LAST CAL : 99999 H EDID : Landscape DSP MODE : Normal(*) | | MODEL : | MS-S200 | |
| VSPU : Rev.A MPU : Rev.A ACT TIME : 99999 H LAST CAL : 99999 H EDID : Landscape DSP MODE : Normal(*) | | SERIAL : | * * * * * * * * * * * * | |
| MPU : Rev.A ACT TIME : 99999 H LAST CAL : 99999 H EDID : Landscape DSP MODE : Normal(*) | | VSPU : | Rev.A | |
| ACT TIME : 99999 H LAST CAL : 99999 H EDID : Landscape DSP MODE : Normal(*) | | MPU : | Rev.A | |
| LAST CAL : 99999 H EDID : Landscape DSP MODE : Normal(*) | | ACT TIME : | 99999 H | |
| EDID : Landscape DSP MODE : Normal(*) | | LAST CAL : | 99999 H | |
| DSP MODE : Normal (*) | | EDID : | Landscape | |
| | | DSP MODE | : Normal(*) | |
| AUTO-TEXT : Disable | | AUTO - TEXT | : Disable 🔒 | |
| 人感センサー機能 H-SENSOR : Enable | 人感センサー機能 | H - SENSOR | : Enable 🗨 🗕 | |

画像の表示方向を固定する

本製品の出荷時は、画面の向きを縦型(ポートレート)および横型(ランドスケープ)に回転 して切り替えた際に画像の向きも自動で切り替わるよう設定されています。 画面を回転しても画像の向きを固定したまま使用したい場合には、下記の手順で EDID データの 設定を切り替えてください。

EDID データの切替方法

- 1)操作ボタンA~Dのいずれかを押して「操作ボタンガイド①」を表示させます。
- 2)「**MENU**」ボタンを押します。
- 3) ▼ または ▲ ボタンを押してメニュー 1/2 ページから「EDID」を選択し、「OK」ボタンを 押します。次に「EDID」の OSD 表示から「Auto Selection (自動選択)」、「Portrait (縦 長表示)」または「Landscape (横長表示)」を選択し、「OK」ボタンを押します。 EDID の設定状態は「インフォメーション 1/2 ページ」の「EDID」ステータスで確認するこ とができます。
 - ·Auto Selection: 縦長 / 横長自動選択
 - ·Landscape: 横長表示固定
 - ·Portrait: 縦長表示固定



テストパターンの表示方法

本製品は画質確認用のテストパターンを表示することができます。

テストパターンの選択

- 1)操作ボタンA~Dのいずれかを押して「操作ボタンガイド①」を表示させます。
- 2)「**MENU**」ボタンを押します。
- 3) ▼ または ▲ ボタンを押してメニュー 1/2 ページから「TEST PATTERN」を選択し、「OK」 ボタンを押します。すると「TEST PATTERN」の OSD が表示されます。 「SMPTE pattern」または「AAPM TG18-OIQ pattern」から任意のテストパターンを選 択して「OK」ボタンを押します。

出荷時に設定されているテストパターンは仕向先により異なります。

| 仕向け地域 | テストパターン |
|--------|--------------------|
| 北米 | SMPTE パターン |
| その他の地域 | AAPM TG18-OIQ パターン |



SMPTE パターン



AAPM TG18-OIQ パターン

設定方法

テストパターンの表示を操作ボタンのファンクション(F1~F3)に割り当てることができます。 ここでは、「F1」ボタンで表示のオン / オフができるように割り当てます。

- 1)操作ボタンA~Dのいずれかを押して「操作ボタンガイド①」を表示させます。
- 2)「**MENU**」ボタンを押します。
- 3) ▼ または ▲ ボタンを押してメニュー 1/2 ページから「FUNCTION」を選択し、「OK」ボ タンを押します。次に「FUNCTION」の OSD 表示から「FUNCTION1」を選択し、「OK」 ボタンを押します。
- 4)「FUNCTION1」の OSD 表示から「**TEST PATTERN**」を選択し、「**OK**」ボタンを押します。



表示方法

- 1) 操作ボタンA~Dのいずれかを押して「操作ボタンガイド①」を表示させます。
- 2) 「**F1**」ボタンを押してテストパターンを表示します。テストパターンは、表示されてから 10 秒後に自動的に消えます。表示中に再度「**F1**」ボタンを押すことで、テストパターンを消す こともできます。

DisplayPort 設定

モニターの信号入力を DVI コネクタから行い、DisplayPort コネクタを使用しない場合に、 DISPLAYPORT を「オフ (無効)」に設定することができます。これにより省電力化が図れます。 ※ DISPLAYPORT をオフ (無効) にすると DisplayPort OUT コネクタも動作しなくなります。

設定方法

- 1)操作ボタンA~Dのいずれかを押して「操作ボタンガイド①」を表示させます。
- 2)「MENU」ボタンを押します。
- 3) ▼ または ▲ ボタンを押してメニュー 2/2 ページから「DISPLAYPORT」を選択し、「OK」 ボタンを押します。次に「DISPLAYPORT」の OSD 表示から「Disable (無効)」または「Enable (有効)」を選択し、「OK」ボタンを押します。 DisplayPort 出力のオン / オフ(有効 / 無効) 状態は「インフォメーション 2/2 ページ」の「DP」 ステータスで確認することができます。
 - ·Enable (有効)
 - ·Disable (無効)



USB ハブ機能

本製品は、USB 2.0 規格準拠のハブを搭載しています。付属の USB ケーブルを USB 対応のワークステーション、または他の USB ハブに接続することで、本製品の USB ハブに USB 周辺機器を 接続することができます。

USB ハブの電源供給 (USB POWER) は予め「Auto (オート)」に設定されていますが、OSD 操作で「Off (オフ)」に設定変更することもできます。

設定方法

OSD で USB ハブの電源供給 (USB POWER) をオン / オフ (有効 / 無効) することができます。 1) 操作ボタン A ~ D のいずれかを押して [操作ボタンガイド①] を表示させます。

- 2)「**MENU**」ボタンを押します。
- 3) ▼ または ▲ ボタンを押してメニュー 2/2 ページから「USB POWER」を選択し、「OK」ボタ ンを押します。次に「USB POWER」の OSD 表示から「Auto (オート)」または「Off (オフ)」 を選択し、「OK」ボタンを押します。
 - ・Auto (オート): ワークステーションと接続したときにオンとして使える ・Off (オフ):常に電源供給はオフ
- 本製品とワークステーションを付属の DisplayPort ケーブル(または DVI ケーブル)で接続し、ワークステーションを起動します。(■● P5)
- 2 付属の USB ケーブルを、本製品の「UP」 ストリームポートとワークステーション(または 他の USB ハブ)の「DOWN」 ストリームポートに接続します。自動的に USB 機能がセット アップされます。



重要

USB ハブに接続するすべての USB 機器の動作を保証するものではありません。 ご使用のワークステーション、OS および周辺機器によって、動作しない場合があります。 また、付属の USB ケーブルを使用して次のようなことが行えます。

・キャリブレーションを行う(オプションのキャリブレーションキットが必要です)

・複数台のモニターを連続でキャリブレーションする

● キャリブレーションを行う場合

上図のように付属の USB ケーブルを、本製品の「UP」ストリームポートとワークステーションの USB「DOWN」ストリームポートに接続します。(キャリブレーションの方法については、オプショ ンのキャリブレーションキットの取扱説明書を参照してください。)

● 複数台のモニターを連続でキャリブレーションする場合

本製品を USB ケーブルでチェーン接続すると6台までの接続が可能です。

- 1 ワークステーションの USB 「DOWN」ストリームポートと1台目のモニターの USB 「UP」ストリームポートを付属の USB ケーブルで接続します。
- 2 1 台目の USB 「DOWN」 ストリームポートと 2 台目のモニターの USB 「UP」 ストリームポートを付属の USB ケーブルで接続します。
- 3 以下同様に2台目と3台目、4台目と5台目というように接続します。





工場出荷設定に戻す

本製品の設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。

実行方法

- 1)操作ボタンA~Dのいずれかを押して「操作ボタンガイド①」を表示させます。
- 2)「MENU」ボタンを押します。
- 3) ▼ または ▲ ボタンを押してメニュー 2/2 ページから「FACTORY PRESET」を選択し、「OK」 ボタンを 2 秒以上長押します。次に「FACTORY PRESET」の OSD 表示から「Yes (実行)」 を選択し、「OK」ボタンを 2 秒以上長押します。
 - ・Yes (実行)
 - ·No (キャンセル)

工場出荷設定



スタンバイ電源ボタンのロック機能

本製品には、スタンバイ電源ボタンのロック機能があります。うっかりモニターの電源をオフしてしまうことがないように本製品前面のスタンバイ電源ボタンをロックすることができます。



ロック方法

OSD が表示していない状態でスタンバイ電源ボタンを4 秒以上長押しします。すると画面上 にスタンバイ電源ボタンの現在の状態が表示されます。「POWER BUTTON: Unlock」の表示 が出るので、スタンバイ電源ボタンをさらに4 秒以上長押しすると、スタンバイ電源ボタンが ロックされます。

2 M P

スタンバイ電源ボタン現在の状態

To lock the power button, keep holding down the POWER button for over 4 seconds.

POWER BUTTON : Unlock





スタンバイ電源ボタンのロック解除

ロック解除方法

OSD が表示していない状態でスタンバイ電源ボタンを4 秒以上長押しします。すると画面上 にスタンバイ電源ボタンの現在の状態が表示されます。「POWER BUTTON: Lock」の表示が 出るので、スタンバイ電源ボタンをさらに4 秒以上長押しすると、スタンバイ電源ボタンロッ クが解除されます。

スタンバイ電源ボタン現在の状態

| 2 M P | | 2 M P |
|---|--------------------|-------|
| POWER BUTTON : Lock | POWER BUTTON : Unl | o c k |
| To unlock the power button, keep holding down the POWER button for over 4 seconds. | | |

操作ボタンのロック機能

本製品には、操作ボタンのロック機能があります。モニターの設定を変更できないように本製品 前面の操作ボタン(スタンバイ電源ボタンを除く)をロックすることができます。



ロック方法

OSD が表示していない状態で▼および▲ボタンを4 秒以上長押しします。 すると画面上に操作ボタンの現在の状態が表示されます。「KEY BUTTON: Unlock」の表示が 出るので、▼および▲ボタンをさらに4 秒以上長押しすると、操作ボタンがロックされます。

操作ボタン現在の状態

操作ボタンのロック



| | | | | 2 M P |
|-----|--------|---|------|-------|
| ΚΕΥ | BUTTON | : | Lock | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

ロック解除方法

OSD が表示していない状態で▼および▲ボタンを4 秒以上長押しします。 すると画面上に操作ボタンの現在の状態が表示されます。「KEY BUTTON: Lock」の表示が出 るので、▼および▲ボタンをさらに4 秒以上長押しすると、操作ボタンロックが解除されます。

操作ボタン現在の状態







2 M P

市販のアームを取り付けるときは

本製品はスタンドを取り外して市販のアーム等を取り付けることができます。 使用するアーム等の仕様をご確認の上、次の点に注意してお選びください。

- ・100 mm ピッチ取り付けに適合しているもの(右図参照)
- ・耐荷重がモニター本体(スタンドを取り外した状態)と 接続されたケーブル類の総質量に耐えられるもの
 - 注意 取り外したスタンドを再度取り付ける場合は、製品購 入時に取り付けられていたネジをお使いください。



| 取り付け部分の板金厚 | 指定ネジ寸法 |
|------------|-------------------|
| 3.5–4.5 mm | ISO M4 × 12 |
| 1.5–3.5 mm | ISO M4 × 10 (添付品) |
| 1.5 mm 以下 | ISO M4 × 8 |

なお、スタンドの取り外しやアーム取り付けはお客様の責任において行うものとし、万一事故が発生した場合、弊社はその責任を負いかねます。

アームの取り付け方

- 1 画面に傷がつかないよう、安定した平らな面にクッション材や柔らかい布を敷きます。
- 2 その上に画面を伏せてモニターを置きます。
- 3 スタンドを取り外します。(プラスドライバーで下図矢印4カ所のネジを外します。)



4 モニター本体をアームに取り付けます。(取り外しと逆の手順で行います。)

注意 既に固定されたアーム等にモニターを取り付ける場合は、必ず2名以上で安全を 確保して取り付け作業を行ってください。モニターが落下したり転倒したりする と、けがや故障の原因となりますのでご注意ください。

日本語

盗難防止セキュリティロックスロット

本製品には、ACCO Brands 社の Kensington MicroSaver* セキュリティロックシステムに対応 したセキュリティロックスロットを搭載しています。 MicroSaver ロックは、別途コンピュータ用品販売店などでお求めください。

AlcroSaver ロックは、別述コンヒユータ用品販売店などでお氷めくたさい。



* Kensington、MicroSaver は米国 ACCO Brands 社の登録商標です。





ヒューズ付き AC インレットの注意

ACインレットにはヒューズが内蔵されています。 ヒューズを交換するときは、正当な定格のタイプのみを使用してヒューズカバーを取り付け直して ください。

ヒューズの交換方法

マイナスドライバでヒューズカバーを開き、ヒューズを交換します。



故障かな?と思ったら

「故障かな?」という場合、修理を依頼される前に次の事項を確認してください。

| 症状 | 考えられる原因と対処方法 |
|---|--|
| 電源が入らない! (LED インジケータが点灯しな い) | ・電源コードの接続を確認してください。(■→ P5) ・メイン電源スイッチが入っているか確認してください。 |
| | ・信号ケーブルの接続を確認してください。 (■■➡ P5) |
| | ・ワークステーションの電源が入っているか確認してください。 |
| | ・LED インジケータが橙色になっている場合、ワークステーションがパワーセーブ状態になっている可能性があります。 キーボードのいずれかのキーを押してみてください。 |
| 画面が表示されない! | ・入力信号の周波数もしくは表示解像度が本製品の仕様に適合していない可能性があります。ワークステーションの取扱説明書に従って、周波数または表示解像度を調整してください。 |
| | ・LED インジケータが赤色になっている場合は、メイン電源 を OFF にしてから、もう一度 ON にしてください。症状が 改善されない場合は、弊社サポートデスクへお問い合わせください。 |
| 画像が正しく表示されない! | 入力信号の表示解像度が本製品の仕様に適合していない可能 性があります。ワークステーションの取扱説明書にしたがって、 表示解像度を調整してください。 |
| DisplayPort 入力で画像が 正しく表示されない! | DisplayPort 入力は、グラフィックスカード、グラフィックス カードのドライバ、OS 等の組み合わせによりうまく表示され ない場合があります。推奨のグラフィックスカードについては お買い求めの販売店にご相談ください。 |
| 「Check the system settings.」という OSD が 表示される ! | DisplayPort 入力でノイズの影響等により色深度が 6bpc に なった時に表示されます。 グラフィックスカードのドライバ設 定で 6bpc 以外の設定へ変更してください。 |
| セルフキャリブレーションが 動作しない! | 停電などの電源遮断があった場合、モニター内蔵の時計が初 期化されるため、セルフキャリブレーションが正常動作しな い場合があります。QA Medivisor Agent LE もしくは QA Medivisor Agent で時計を再設定してください。 |

Memo

Memo



Memo

MS-S200 設置マニュアル 2023 年 11 月版

設置マニュアルに関するご注意

- ・本書の内容の一部または全部を無断転記することは禁止されています。
- ・本書の内容について将来予告なしに変更することがあります。
- ・本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不明な点や誤り、記載もれなど お気づきのことがありましたら販売店にご連絡ください。

日本語



〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

Printed in Japan © 2021 JVCKENWOOD Corporation

